

## 意見書

地元CATV最大手の沖縄ケーブルネットワーク(株)「略称OCN」のサービスエリアを八重瀬町全域まで拡大させると共に、情報通信分野における格差を解消させる必要があります。地上デジタルビジョン放送に向けての対応(CS及びBSデジタルビジョン放送含む)とケーブルインターネットサービスとIP電話サービスも充実している同社の八重瀬町進出は、地域振興の促進と沖縄本島南部地域の持続的発展に大きく貢献できるものと考えています。光ファイバー敷設で高品質・高速大容量で、情報ネットワークが完全に整備されるものと考えます。是非とも実現して頂きますようお願い申し上げます。複合大型商業施設の積極的な誘致させる必要があります。特に(株)サンエー・(株)リュウボウストアに対して、スーパーマーケットを八重瀬町へ出店するよう働きかけを要望致します。

財政健全化と自主財源比率の向上に繋がりますから、所得向上と生活環境の改善にも結び付きます。都市モノレールの延伸も強く求めたいと思います。地域活性化の起爆剤として十分役割を担えます。災害に備えての備蓄倉庫の新設及び増強が必要があります。危機管理の面からも行政防災無線を導入して頂きたいと思います。地震等の災害が発生した際の指揮命令系統を明瞭化するべきと考えます。周辺自治体との連携を密にするべきであります。

## 理由

近隣市町(那覇市・豊見城市・南風原町)と比べるとCATVや光ファイバーを使用した高速ケーブルインターネットやIP電話の整備が全く進んでいない為に、ADSL(電話回線を使用した非対称デジタル加入者線)しか利用出来ないのが現実で、正しく「陸の孤島」と言っても過言ではありません。情報通信技術が更に向上するに連れて、デジタル回線情報通信技術が更に向上するのに連れて、デジタル回線は勿論の事ですが、高速大容量と商品質を駆使した光ファイバーケーブルが首都圏等の都市部を中心に敷設整備が着実に進行し、普及率も年々上昇する傾向にあります。CATV契約加入者数と世帯普及率も増加または上昇しています。CATVインターネット契約数も軒並み増加傾向が目立っております。情報化社会から未だに取り残されている八重瀬町にとって正に「死活問題であるCATVを含めた情報通信分野の構築は重要であります。また大型複合施設の積極的誘致も最重要課題の一つと言えます。高級ブランド等を扱うショッピングモール(特定免税品)専門店、アウトレットモール、スーパーマーケット、カジノを含めたゲーミング・エンターテイメント施設の進出で、地域活性化は勿論の事、地元在住の方々に対する雇用創出の効果が増大し、税収増加と所得向上に繋がり、産業の好循環にも結び付きます。都市モノレールの延伸は交通渋滞の緩和または解消と環境改善にも繋がる効果が十分期待出来ます。採算性も十分クリアすると思います。実現が求められています。地震等の災害対策も重要課題の一つです。万が一突然の災害が発生した時の際に備えるための危機管理による迅速な対応が必要が不可欠と考えるからです。

平成20年6月16日

八重瀬町長 中村信吉 殿  
八重瀬町総合開発審議会 御中

追伸 「OCN社から頂いたパンフレットを参考資料として添付致します。